

花きの県別生産出荷概況(6月見通し)

令和4年5月31日現在

出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期 期間 (ピーク)	作付面積 ha (前年比)	出荷見込み		6月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
						出荷総数	京浜地域向	上旬	中旬	下旬		
バラ	青森		サムライ アバランジェ	周年 (7~8月)	0.50 (100%)	200 (97%)	172 (97%)	10	40	50	JA津軽みらい	【津軽地区】 作付面積は横ばい。消雪が遅かったが、3月以降好天が続いたため平年並の生育。
	茨城	施設	サムライ アバランジェ エクレール 等	周年	1.5 (100%)	-	-	40	30	30	古河市 石岡市等	・生育は平年並み。 ・病害虫の影響は特になし。
	群馬	施設 (周年)	アヴァランジェ サムライ08 ほか	周年 (5~11月)	11.5 (98%)	923 (100%)	640 (100%)	33	33	33	前橋市 富岡市	各産地生育は順調であり、平年並みの出荷量を見込む。昭和村(中山間地)からの出荷も本格化するため、県全体の出荷量は潤沢となる。病害虫の発生も一部散見されるが、特に問題となっていない。
	静岡	周年	サムライ オール4ラブ ベイブ シンディ	周年 (4~6月)	1.3 (96%)	1,000 (103%)	750 (103%)	40	30	30	JA掛川市 JAしみず JA大井川 JA静岡市	4月中下旬ピークの返しが6月上旬にくる見込み。品種、圃場、産地ごと状況が異なるため動向がつかみにくい。改植には入っているため爆発的な増加は無い。
トルコキキョウ	青森		ホクトセイ ポヤージュ ロジーナ	6月~11月 (9月)	4.80 (100%)	862 (105%)	566 (105%)		30	70	JAつがるにしきた JA津軽みらい JA八戸	【津軽地区】面積は前年から横ばい。4月中旬~5月上旬にかけて好天・高温が続いたため、生育は前進気味。出荷開始は平年より早く6月上旬~中旬頃の見込み 【県南地区】面積は微増傾向。越冬品については、4月、5月上旬の好天もあり、生育は順調。6月下旬から出荷開始見込み。
	秋田		セレブ系 ポヤージュ系	7月-11月 8-9月	240 (98%)	467 (108%)	345 (108%)	10	15	75	ふるさと こまち	昨年10月~12月に定植した越冬作型は6月の出荷に向け生育は順調。また、3月定植のものは生育が早く6月中旬・下旬に出荷の可能性もある。
	茨城	促成 施設	ポヤージュ系 レイナ系 マキア等	10~6月 (6月)	1.1 (100%)	-	-	30	30	40	鉾田市 石岡市等	・生育は平年並み。 ・病害虫の影響は特になし。
	群馬	施設 (周年)	ロジーナ系 ミンク系 パレオ系 ほか	周年 (6~11月)	5.7 (100%)	158 (100%)	90 (95%)	40	30	20	太田市 館林市	6月上旬まで潤沢な出回りとなる。大口生産者の切り上がりもあり、中旬以降は出荷数量は漸減傾向となる見込み。
	長野	加温 促成 ~無 加温	レイナホワイト セレブピンク ロジーナラベンダー	6月 6月下旬		130 (90%)	50 (90%)		25	30	45	ながの 松本HL

花きの県別生産出荷概況(6月見通し)

令和4年5月31日現在

出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期 期間 (ピーク)	作付面積 ha (前年比)	出荷見込み		6月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
						出荷総数 千本 (前年比)	京浜地域向 千本 (前年比)	上旬	中旬	下旬		
トルコキキョウ	千葉	施設		4~8月 10~12月 (6月、11月)	7.0 (100%)	500 (100%)	500 (100%)	30	35	35	館山市 鴨川市 南房総市 (丸山・千倉)	・冬季及び春先の低温、寡日照により生育はゆっくり。白、紫、ピンク、黄、グリーンが中心。 ・出荷ピークは例年どおり6月下旬の見込み。病害虫の被害は少なく、品質の良いトルコキキョウを出荷できる見込み。
	静岡	半促成	セレブリッチW セレブピンク	10月~6月 (4~5月)	0.9 (97%)	300 (100%)	200 (100%)	40	40	20	JA静岡市 JA大井川 JAハイナン JA遠州中央	2番花の本格的な出荷は6月に入ってからとなる見込み。2番をやらない方も増えているため昨年並みの出荷見込み。
	大分	施設	ボレロW ラズリーBF 渚 マカナライトP	周年 (5、12月)	2 (100%)	130 (118%)	10	40	40	20	佐伯 杵築 玖珠	2番花の遅れていた分が出そう見込み。 5月末~6月上旬がピークの見込み。 順次高冷地の玖珠産へ切り替わる予定。
	熊本	施設	ミヨシ系 サカタ系 八江系など	周年	夏秋 14.18ha 冬春 21.59ha (104%)	440 (101%)	221 (101%)	45	38	17	熊本市 菊池 やつしろ くま など	6月の数量は概ね減少傾向にある。やつしろ南部地区では、花シミ、傷み、シワが見られる。あまくさ地区の一部圃場では、スリップスが見られ、2番花が収穫できない可能性がある。2番花のピークは、6月上旬頃に迎える。

花きの県別生産出荷概況(6月見通し)

令和4年5月31日現在
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目		販売における現状と今後の見通し	
バラ	現状	母の日納品週のみ輸入の出荷再開。配送用の受注が直近の2日(月)と4日(水)に集中、調整を行いながら品薄状況下において単価高で推移。休眠明けの山形など高冷産地の数量が増加。母の日明けで一旦引き合いは落ち着くものの、週末の婚礼や6/2「ローズの日」に向けて、第4～5週に仲卸フェアの実施などで一定の需要あり(大田)。山形、栃木、群馬、静岡、愛知等 初週は母の日プライダルで高値以降潤沢な入荷も中値で推移(FAJ)。カーネーション同様、上旬は堅調な販売が出来たが、母の日以降は低迷した(第一花き)。前半は母の日もあり高かったが、例年より早かった事と悪天候により荷は少なかった。明けてからは落ち着いていたが、業務需要中心に動き(世田谷)。母の日商戦はなんとか手当てはできたが、天候不順が続き出荷サイクル生産者によって若干のズレがある(東日本板橋花き)。	
	見通し	大田花き	第1週目は5月最終週に引き続き、「ローズの日」の需要がある。母の日が終わり、秋出荷に備えて改植する産地もあり、品種によっては減少する可能性あり。今後の天候次第となるが、曇天や梅雨入りに伴い、ボトなど病気の影響が出る可能性もある。気温の上昇に伴い、下位等階級が増えて来ることに加え、父の日直近の1週間には輸入品も黄色、オレンジに限り、一時出荷再開の予定。
		FAJ	山形、栃木、群馬、千葉等 産地の切替が続くが暖地の残り具合によって相場は保合または弱保合
		第一花き	産地の切り替え時期になり、相場は入荷量次第。
		世田谷花き	6月も引き続き業務中心の展開となりそう。小売り向けの品種・下位等級は販売に苦戦しそう。
		東日本板橋花き	天候が心配だが各産地潤沢な出荷量を見込む。梅雨時期と高温期にさしかかってくるので各生産者には品質管理に注意するようにお願いしています。
	トルコぎきょう	現状	母の日商戦では沖縄の出荷がピークとなり、昨年以上の数量となった。一方、九州管内や静岡などは二番が間に合わず、5月中・下旬あたりから数量増加。高値が続いていたこともあり、需要見極めながらの仕入れとなった(大田)。栃木、熊本中心に静岡、沖縄等より入荷 西南暖地は徐々に減少 週末宴会需要中心に堅調相場(FAJ)。トルコについては、母の日以降も堅調な販売が続いている。下旬になり、少し落ち着いた(第一花き)。熊本・高知・沖縄県などからの入荷。沖縄は出荷終盤を迎える。入荷少なめ。高値傾向続く(世田谷)。低温や日照不足のため例年より数量減少(東日本板橋花き)。
見通し	大田花き	6月は千葉・茨城などの中間産地が数量増え始める。また長野などの高冷地も出荷開始から徐々に数量が増え始め、産地切り替わりのタイミングとなる。	
	FAJ	栃木中心に福島、千葉、静岡より入荷予定 数量は天候次第だが暖地の残り方次第では弱保合相場	
	第一花き	高冷地も始まるが暖地ものの残り具合では数量増で販売苦戦か。	
	世田谷花き	熊本・高知などの2番花も増えてくる。長野・福島県などからの出荷始まり、流通量が増えてくる。	
	東日本板橋花き	関東中心に入荷増となる見込みだが、お天気次第。	